

ラーメン用小麦「ちくしW2号」の 外観品質、収量が優れる播種期、収穫期

豊前分場・筑後分場

1 背景、目的

福岡県が育成した「ちくしW2号」(商標名：ラー麦)は、日本で初めてのラーメン用小麦で、県内で栽培が広がっています。小麦は、検査等級と品質基準により評価されます。「ちくしW2号」が更に普及拡大するためには、検査等級が良好で品質基準を達成し、安定した収量を確保することが重要です。

そこで、検査等級、外観品質、収量がともに優れる播種および収穫適期を明らかにしました。

2 成果の内容、特徴

1)「ちくしW2号」を11月下旬に播種すると検査等級が良好で、収量性に優れ、作柄が安定します(表1)。

2)子実水分が24%以下となる成熟期3日後以降に収穫すると、検査等級が優れます。しかし、この時期においても降雨にあたると粒の退色や穂発芽により、検査等級やフォーリングナンバー値が低下し、品質が不良となるので、降雨前に収穫する必要があります(図1、2)。

注)フォーリングナンバー値：小麦粉の粘度を示すもの。300以上が適正值。

3 主要なデータなど

表 1 播種期と生育、収量、検査等級（豊前分場）

播種期	茎立期	成熟期 (月日)	容積重 (g/L)	子実重 (kg/a)	検査等級
11月中旬	2月上旬	5.29	818	50.3	1等～2等
11月下旬	2月下旬	6.2	817	55.3	1等
12月上旬	2月下旬～3月上旬	6.4	821	50.0	1等

注) 1. 平成 19～21 年播の平均値。茎立期は平成 20～21 年播の平均値。
 2. 茎立期は主茎の節間長が 20mm を超えた日とした。
 3. 容積重はブラウエル穀粒計による測定。

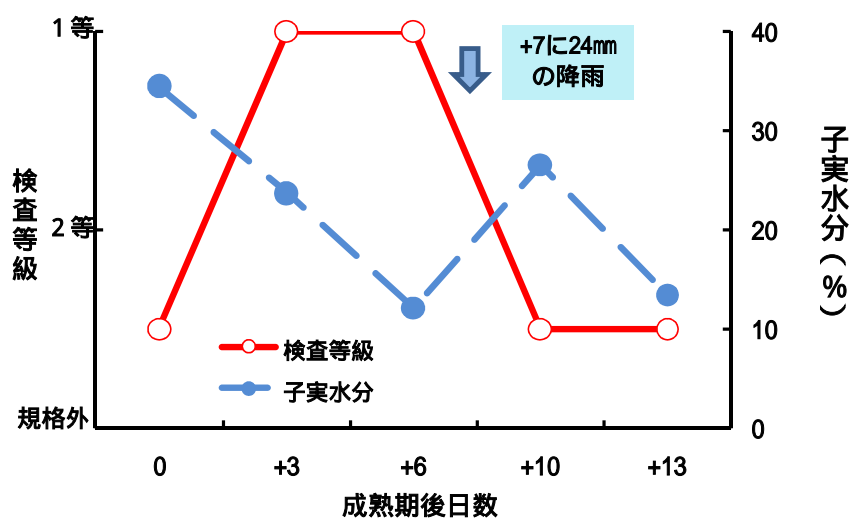


図 1 成熟期後の降雨と検査等級（豊前分場）

注) 平成 21 年収穫で成熟期は 6 月 5 日。

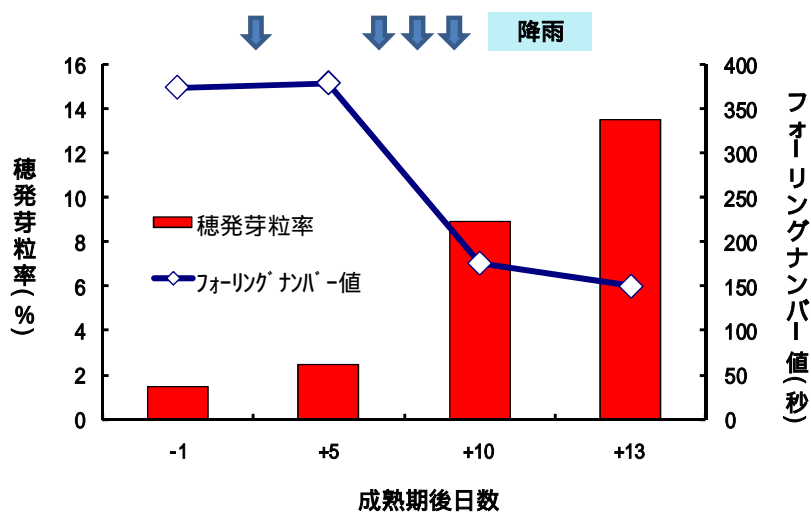


図 2 多雨年における成熟期後の品質の推移（筑後分場）

注) 1. 平成 23 年収穫で成熟期は 6 月 4 日。
 2. 成熟期 3、7、8、9 日後に 15mm、52mm、74mm、110mm の降雨あり。